

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和元年度 第4回社会教育委員会議小委員会		
事務局 (担当課)	生涯学習部生涯学習課 電話042-769-8286(直通)		
開催日時	令和元年10月15日(火)午後6時~8時		
開催場所	相模原市役所 会議室棟1階 第5会議室		
出席者	委員	7人(別紙のとおり)	
	その他	1人	
	事務局	5人(生涯学習課長他4人)	
公開の可否	可	不可	一部不可
	傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 あいさつ 2 議題 (1) 研究調査「社会教育が拓く豊かな地域コミュニティ」について ア 報告書案について イ その他 3 その他		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員、 は事務局の発言)

1 あいさつ

石川委員長のあいさつの後、石川委員長の進行により議事が進められた。

2 議 題

(1) 研究調査「社会教育が拓く豊かな地域コミュニティ」について

ア 報告書案について

事務局から説明を行い、その後協議に入った。

主な意見等は次のとおり。

今回の案で、概ね良いと思う。

短いパラグラフで構成されていて読みやすい。

イメージ図は、分かりやすく検討内容が分かりやすく整理されている。

概要版の提言の部分について、見やすくなるよう工夫をした方がよい。

概要版は、カラーで作成するのか。

その予定で考えている。

2 ページに「人生100年時代」のタイトルが含まれているが、記載が少ないので追記した方がよい。

公民館職員よりも運営協議会などに長く携わっている地域の方のほうが、事業に精通している場合もあり、地域と公民館との連携のあり方について研修などを通じて、検討する必要がある。

公民館の事業について、毎年繰り返しになっている場合もあるので、時代のニーズに捉えて実施することが求められていることから、ネットワーク型公民館の必要性が出てきている。

公民館は、各館が独立を前提としながらも情報共有や連携したイベントを検討していくことが求められている。

この報告書を機会に、地域の方や職員が学習権というものを意識することにつながるとよい。

様々な研修会などで、報告書を使って考え方が共有される場を作ることが今後必要と考える。

この報告書が、新たな取組のきっかけとなり、次世代につながっていく仕組みが必要である。

今後実施する公民館のつどいなどで活用していく予定であり、その他にも周知方法を検討する。

イ その他

特になし

3 その他

事務局より、次回定例会は11月20日(水)午前10時から開催する旨の説明を行った。

石川委員長のあいさつにより、会議を終了した。

以上

令和元年度 第4回社会教育委員会議小委員会出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠
1	井上 一恵	相模原市立小学校長会		出席
2	藤嶋 直司	相模原市公民館連絡協議会	副委員長	出席
3	大橋 千景	虹のおはなし会		出席
4	石川 利江	学識経験者（桜美林大学教授）	委員長	出席
5	古矢 鉄矢	学識経験者（学校法人北里研究所参与）		出席
6	青木 智野	公募		出席
7	藤井 智	特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク 常務理事		出席

出席者7名 欠席者0名